

公共施設やインフラは、市民生活や経済活動を支える重要な施設であり、必要な施設の機能を安全かつ持続的に維持していきます。

財政的制約が強まる中、これまで取り組んできた「事後保全」という考え方から「予防保全」の考え方へとシフトし、ライフサイクルコストの削減や更新等に係る予算の平準化、施設総量の抑制等により、資金の適正な活用と管理を目指します。

多くの公共施設等は、各所管部署において策定される個別施設計画に基づき管理が行われています。今後の各個別施設計画の見直し時期等の機会に、本計画の考え方に合致しているかどうかを検証し、整合を図ることとします。

また、個別施設計画にはない新たな視点として、社会構造の変動による利用需要の変化に応じた総量最適化を検討するとともに、PPP（公民連携）の考え方に基づく民間のノウハウや資金の活用等にも積極的に取り組み、必要な施設の機能を安全かつ持続的に維持していきます。

## 1. 公共施設

### 1.1. 施設類型ごとの方針

#### 1.1.1. 行政系施設

行政系施設には庁舎等が 10 施設、その他行政系施設（ケーブルテレビ施設）が 2 施設あります。

##### 【庁舎等】

- ・庁舎等は、本市行政の中核施設であるため、提供される市民サービスについては継続することを基本とします。
- ・庁舎等は、これまで可能な限り既存の建物を有効活用する考え方で整備を行ってきましたが、庁舎等は行政機能の提供のみならず、地域交流や防災等の多様な機能を有していることから、そうした多様なニーズを充足できるよう計画的に整備を行っていきます。
- ・市民サービスの維持を図ることを最優先とし、組織・機構の見直し、各課の再配置を行う中で、直接サービスを提供する窓口の集約化等を図るとともに、効率的な事務執行ができる環境の整備に向けて検討していきます。
- ・複合化されていない総合支所については、効率的な事務スペースの配置を不断に実施し、他施設との複合化や民間への貸付け等による延床面積の縮減と施設の有効活用を図ります。
- ・本庁舎の建設と総合支所の在り方についても検討を進めます。



北杜市役所



明野総合支所

##### 【その他行政系施設】

- ・放送施設（旧局舎）については、民間移管・譲渡や貸付けを検討するほか、用途変更等による施設の有効活用を検討します。さらに、保有量の縮減を図るため、廃止も視野に入れ施設の在り方を検討していきます。



有線テレビ放送施設  
(旧高根ふれあいテレビ)

### 1.1.2. 市民文化系施設

市民文化系施設には、文化施設 3 施設と集会施設 11 施設があります。

#### 【文化施設】

- ・ 3 施設とも比較的近距离に設置されていること、ホールの規模も類似していること、改修・更新もおおよそ同時期に迎えることなどから、将来的には建物の老朽化や人口動向等の社会情勢の変化に応じて、最適配置を検討する中で、さらなる利用率の向上に努めるとともに、統合、複合化・多機能化、指定管理者制度の活用等の民間の資金やノウハウの導入についても検討し、施設の有効活用を図ります。



須玉農村総合交流ターミナル  
(須玉ふれあい館)

#### 【集会施設】

- ・ 地域交流や市民活動の拠点として、サービス水準の低下を招かない取組を最優先とし、老朽化が著しい施設や利用度・稼働率が低い施設については、今後の維持管理費、改修費等を勘案し、最も効果的な対応を行うよう検討を進めます。
- ・ 大規模改修や建替えの際は、施設の利用圏域を考慮した上で、類似サービスの集約化や他施設で提供されるサービスの複合化等の可能性についても検討し、施設の有効活用を図ります。



甲斐駒センターせせらぎ

### 1.1.3. 社会教育系施設

社会教育系施設は、図書館 8 施設、資料館等 13 施設、合計 21 施設で構成されています。

#### 【図書館】

- ・図書館は、図書その他資料の提供はもとより、市民の生涯学習の拠点でもあることから、サービスの継続を基本としますが、人口減少や人口構成の変化を考慮し、中核的な図書館への集約化、機能の充実・強化について検討します。

<新・行政改革大綱の基本方針>

- ・中核的な図書館 3 施設程度に集約・再編し、機能の充実・強化を図ります。
- ・集約・再編にあたっては、教育的な支援の拡充など図書館サービスの質的な強化充実を図るとともに、賑わいの創出、市民交流、ワーキングなど新たな価値創出の拠点としての機能の充実・強化も図ります。



たかね図書館

#### 【資料館等】

- ・施設の効果的な運営を図るため、より効果的な活用ができるよう運営方式も含めて施設の在り方を検討していきます。
- ・文化財指定等の建造物は、その文化財価値の維持・向上を目指します。



考古資料館

### 1.1.4. スポーツ施設

スポーツ施設には、プール 1 施設、体育館 9 施設、屋内ゲートボール場 9 施設等、合計で 46 施設あります。

#### 【プール、体育館、弓道場、武道場、屋内ゲートボール場、グラウンド・管理施設等】

- ・スポーツ施設については、機能やサービスの重複がみられることから、地域ニーズ、利用者の動向、学校施設との機能分担を見極めながら大規模改修・更新時の規模縮小や他施設との統合や複合化・多機能化を検討し、保有量の縮減を図ります。
- ・施設の維持管理・運営については、各施設の利用状況を踏まえ、施設の維持管理等に民間のノウハウやサービスを適切に導入し、効率的な維持管理とサービスの維持に努めます。
- ・老朽化が進み、かつ、耐震改修が未実施である施設や、利用実績が減少若しくは実績のない施設については、費用対効果等の様々な面から統廃合や機能・規模の見直しを検討していきます。



明野弓道場



白州運動広場施設

### 1.1.5. 産業系施設

産業系施設は、大分類では最も施設数が多く、観光施設が33施設、農林施設が44施設、温泉施設が10施設と全部で87施設あります。

#### 【観光施設】

- ・観光施設は、本市の豊かな自然を活用した施設であるとともに、宿泊可能な施設もあることから、特に夏季の観光シーズンには多くの利用者が訪れます。今後においては、地域の特性を生かしたイベント開催や快適な利用環境の創出等により、集客性の向上に努めます。また、点検や修繕を随時行い、利用者の安全確保に努めます。
- ・建物管理も含めた積極的な民間活用により、維持管理費の抑制を図るとともに、施設の民間移管・譲渡も視野にサービスの質の維持や収益性を高める取組を検討していきます。
- ・利用率が低く維持管理コストが高くなっている施設については、将来的に利用実績の状況を鑑みて、より効果的な活用ができるよう利用需要に応じた施設の有効活用を検討するほか、保有量の縮減を図るため、施設の民間移管・譲渡や廃止も視野に入れ、施設の在り方を検討していきます。



清里駅前観光総合案内所



リフレッシュビレッジこぶちさわ  
「スパティオ小淵沢」

#### 【農林施設】

- ・建物管理も含めた積極的な民間活用等により、維持管理費の抑制を図るとともに、今後も引き続きサービスの質の維持や収益性を高める取組を検討していきます。
- ・利用率が低く維持管理コストが高くなっている施設については、将来的に利用実績の状況を鑑みて、より効果的な活用ができるよう利用需要に応じた施設の有効活用を検討するほか、保有量の縮減を図るため、施設の民間移管・譲渡や廃止も視野に入れ、施設の在り方を検討していきます。
- ・農業生産者や農産物加工者等の特定の市民に利用されている施設については、地域団体等に施設を譲渡する方向で検討していきます。譲渡に当たっては、財産の保有の在り方や経営支援の在り方について協議していくこととします。



高根クラインガルテン



明野町育苗センター

### 【温泉施設】

- 温泉の性質上、設備の腐食が進みやすい特徴があるため、早い段階で老朽化に対する点検を行うとともに、計画的な修繕の実施により、施設を適正に維持管理していきます。
- 利用者が安心して施設を利用できるように、指定管理者と連携しながら安全の確保を図ります。
- 施設の老朽化による維持管理費が増大し、本市の財政を圧迫することが想定される中、これら温泉施設の運営方針をどのように見直していくか今後の大きな課題となっています。経営的な視点から、利用状況や運営方法等を検証し、施設の民間移管・譲渡を検討するほか、大規模改修の到来時期に合わせて廃止を検討し、将来的に縮小を進めます。

#### <新・行政改革大綱の基本方針>

- 指定管理者による経営努力を促進します。
- 施設の民間移管・譲渡を検討します。
- 利用状況や経営状況の改善が見込めない施設については、大規模修繕が必要になった場合、原則廃止とします。



白州・尾白の森名水公園  
(尾白の湯)



むかわの湯

### 1.1.6. 子育て支援施設

子育て支援施設には、幼児・児童施設が 23 施設、保育施設が 15 施設、合計で 38 施設あります。

#### 【幼児・児童施設】

- ・放課後児童クラブは、本市の小学生を対象に、保護者が労働や病気等により、放課後に家庭で児童を保育することができない場合に、保護者の代わりに児童を保育することを目的として各小学校区に設置された施設であり、サービスの継続を基本としますが、児童数の将来推移や社会情勢等の変化を視野に入れ、教育委員会と連携を図る中で、最適配置を検討します。
- ・児童館は、児童福祉法に基づき、子どもたちに健全な遊びを提供し、子どもたちの心身の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として設置された施設であり、サービスの継続を基本としますが、人口減少や人口構成の変化を考慮し、長期的な視点から規模の見直しや集約化の検討を進めていきます。
- ・つどいの広場や子育て支援センターは、多様なニーズに対応するために、子育て世代に欠かすことのできない施設として、公共施設の空きスペースを利活用する等、他施設への複合化・多機能化を検討していきます。



清里放課後児童クラブ



長坂東放課後児童クラブ

#### 【保育施設】

- ・保育園は、児童福祉法に基づき、保護者が労働や病気等により、日々家庭で児童を保育することができない場合に、保護者の代わりに児童を保育することを目的として設置された施設であり、サービスの継続を基本としますが、「北杜市立保育園整備計画」や「北杜市保育園充実プラン」に基づき、適正規模、適正配置を行っていきます。
- ・旧町村に複数の保育園が設置されている地域については、優先して統廃合を進めます。
- ・将来的には、他市の公立保育園利用水準と同程度の利用水準を目指し、施設の統廃合を検討します。
- ・保育ニーズの多様化に伴い、指定管理者制度の活用等、民間の資金やノウハウを導入した施設運営について検討するとともに、公立保育園の民間移管・譲渡についても検討を進めます。



しらかば保育園



わかば保育園

#### <新・行政改革大綱の基本方針>

- ・将来的には近隣 3 市の公立保育園利用率水準 88.4%と同程度の利用率水準を目指し、8~10 施設（110~130 人/園）での統廃合・再編を進めます。
- ・旧町村地域に複数の市立保育園が設置されている地域などについては、先行して検討します。
- ・保育園の適正規模・適正配置については、地域の子どもの数や各保育園の定員数、保育施設・設備、保育士配置も考慮したなかで統廃合・再編を進めます。
- ・休日保育、長時間保育等の保護者ニーズに応じたサービスの充実を図るため、指定管理者制度を活用した民間事業者による施設運営や完全民営化についても検討を進めます。

### 1.1.7. 学校教育施設

学校教育施設には、学校が 20 施設、その他教育施設が 6 施設あります。

#### 【学校】

- ・小中学校については、児童数の将来推移や社会情勢等の変化も視野に、統廃合も含め最適配置を行います。
- ・高等学校については、施設の計画的な維持補修等を実施していきます。
- ・児童、生徒が安全かつ安心して学ぶことができるよう教育環境及び安全の確保を図るとともに、学校施設としての機能のほかにも防災拠点等の重要な機能も併せ持っていることから、計画的に改修を行い、長寿命化を図ります。

#### <新・行政改革大綱の基本方針>

- ・生徒数が減少しているなかで、施設の老朽化などによる将来的な財政負担の軽減と魅力ある学校づくりを推進するため、国の指針や県内他市の中学校における 1 校当たりの平均生徒数 267 人と同水準程度となる 2~4 校での統合・再編（甲陵中を除く）を進めます。
- ・中学校の適正規模・適正配置については、令和 4（2022）年度に「市立中学校再編整備検討会（仮称）」を立ち上げ、全体最適の視点に立って、生徒数や定員数、学校施設・設備、教員等の配置も考慮したなかで統合・再編を進めます。
- ・中学校の統合・再編等により縮減された経営資源については、学校防災機能や教育機能の強化、教育の質向上に向けた投資などに活用します。



長坂小学校



高根中学校

#### 【その他教育施設】

- ・教職員住宅については、現在、外国語指導助手の住宅として活用していますが、今後の施設の利用状況を踏まえ、廃止や用途変更等の検討を行うこととします。
- ・学校給食センター及び学校給食調理場については、引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供と効率的な施設運営の両立を図ることとしますが、児童・生徒数の推移を踏まえつつ、長期的な視点から集約化の検討を進めていきます。

#### <新・行政改革大綱の基本方針>

- ・小淵沢学校給食センター及び泉中学校学校給食調理場は、今後、老朽化が一層進み、大規模修繕等が見込まれることから、北杜南学校給食センター又は北杜北学校給食センターへの統合を進めます。



高根清里教職員住宅



北杜南学校給食センター

### 1.1.8. 保健・福祉施設

保健・福祉施設には、高齢者福祉施設が 15 施設、障がい福祉施設が 2 施設、保健施設が 1 施設、合計で 18 施設があります。

#### 【高齢者福祉施設】

- ・ 老年人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化等の背景もあることから、「北杜市老人福祉計画・介護保険事業計画（ほくとゆうゆうふれあい計画）」との整合を図る中で、今後の高齢者福祉の需要や市民ニーズ等を踏まえながら、サービス提供の在り方や施設配置等の見直しを検討していきます。
- ・ 介護老人保健施設は、介護を必要とする高齢者の自立を支援し自宅での生活復帰を目指す施設であること、また、訪問看護ステーションについては、在宅看護の拠点としてその役割は重要であることから、サービスの継続を基本としますが、人口減少や人口構成の変化を考慮し、長期的な視点から規模の見直しや集約化の検討を進めていきます。



武川町デイサービスセンター



明野小笠原高齢者憩いの家

#### 【障がい福祉施設】

- ・ 障がい福祉を推進し、社会参加を一層促進すること、また、障がい者の生活支援の拠点として、障がい福祉施設の果たす役割は重要であることから、サービスの継続を基本としますが、人口減少や人口構成の変化を考慮し、長期的な視点から規模の見直しや集約化の検討を進めていきます。



障害者総合支援センター  
(かざぐるま)

#### 【保健施設】

- ・ 保健センターは、保健事業の企画・調整等を担う拠点としての役割に加え、子育て世代における身近な相談から支援までの包括的な機能を併せ持つ施設であることから、サービスの継続を基本としますが、人口減少や人口構成の変化を考慮し、長期的な視点から規模の見直しや集約化の検討を進めていきます。



保健センター  
(子育て世代包括支援センター)

### 1.1.9. 医療施設

医療施設は4施設あります。

#### 【医療施設】

- ・市民の健康づくりを担う上で市立病院の果たす役割は極めて重要なものであり、市内には2つの市立病院のほか、2つの診療所が設置されていることから、両者が連携しながら、それぞれの役割を果たしていくことが必要です。
- ・地域住民から信頼され安全・安心な医療を提供していくために、今後も黒字化を図るための諸改革を進め、病院経営の健全性を確保していくとともに、必要な改修や設備等の更新を行っていきます。
- ・超高齢社会を控え、医療施設は、在宅の高齢者が安心して暮らしていける地域の支えになる必要があることから、「山梨県地域医療構想」を踏まえ、在宅医療やへき地医療への要請にも応えられる機能や施設の整備も含めて、施設の在り方を検討していきます。



塩川病院



甲陽病院

### 1.1.10. 市営住宅

市営住宅は51施設あります。

#### 【市営住宅】

- ・市営住宅については、機能維持を基本としつつ、「北杜市営住宅総合活用計画・長寿命化計画」に基づき最適配置を行うとともに、活用計画に基づく用途廃止・維持保全・全面的改善・建替え・耐震化等を計画的に推進します。
- ・老朽化し、耐震基準を満たさない木造戸建・簡易平屋建住宅については、居住者の住宅確保を図りながら、整理縮小を進めます。
- ・既に用途廃止された施設については、「北杜市営住宅総合活用計画・長寿命化計画」に基づき有効活用を進めるものとします。
- ・少子高齢化等の社会情勢に応じた効果的で効率的な運営を図るため、将来的には駐車場使用料等の在り方についても、負担の公平性の観点から検討する必要があります。また、民間活力を活用した新たな仕組みについても検討する必要があります。



高根団地



山崎団地

#### <新・行政改革大綱の基本方針>

- ・公営住宅が住宅セーフティネットの役割を担っていることや一定の入居率があることを十分踏まえたなかで、北杜市公共施設等総合管理計画の改訂を踏まえ、「北杜市営住宅総合活用計画・長寿命化計画」を見直すとともに、目標管理戸数の達成に向けて、着実な用途廃止と有効なストックの長寿命化を並行して実施していきます。
- ・老朽化し、耐震基準を満たさない木造戸建・簡易平屋建住宅の居住者の安全確保を図るため、退去者への住宅確保支援や公営住宅の減免規定等について見直しを行い、入居替えを促進します。

### 1.1.11. 供給処理施設

供給処理施設 1 施設は、法律等で設置が義務付けられている施設です。

#### 【供給処理施設】

- 供給処理施設（し尿等処理施設〈北部ふるさと公苑〉）は、環境衛生上必要不可欠な施設として維持していく必要があるため、将来の人口動態や生活排水処理動向を考慮した施設規模の適正化や長寿命化等の整備を検討していきます。



北部ふるさと公苑

### 1.1.12. その他

その他に分類される施設は 44 施設あります。

#### 【その他】

- 火葬場（北の杜聖苑）は、市民生活に必要な不可欠なサービスを提供するために必要な施設として維持していく必要がありますが、施設の長寿命化等を検討するとともに、広域的な視点での合理化が見込まれる場合には他団体との広域連携等についても検討していきます。
- 駐車場については、長寿命化や適切な維持補修等により、維持管理費用や更新費用の抑制を図りながら当面は維持することとしますが、利用状況や地域環境等を見極めつつ、適正な管理と見直しを進めていきます。



北の杜聖苑

### 1.1.13. 普通財産

行政財産以外の財産として普通財産があります。

#### 【普通財産】

- 普通財産は、積極的な利活用を推進するほか、状況によって売却や除却を図ります。
- 貸付物件については、適正な賃貸料による貸付けを行うことで歳入確保を図ります。



旧増富中学校

## 2. インフラ

インフラは、市民生活や経済活動を支える重要な施設であり、必要なインフラの機能を安全かつ持続的に維持していくことが求められます。

財政的制約が強まる中、維持管理作業や調査・点検作業等の合理化を進めるとともに、新設や更新の際には設計段階から維持管理・調査・点検作業に適した設計となっているかをチェック項目に加えます。さらに、ICT<sup>25</sup>を活用した市民からの情報提供システムを導入することなどで、必要最小限の人材で効率的な維持管理を行う仕組みの構築を検討します。

また、維持補修に係る費用の削減と併せて、更新等に係る予算の平準化が求められることから、これまでの「事後保全」の考え方から「予防保全」の考え方へとシフトしていく必要があります。

なお、インフラについては、所管部署において施設類型ごとに個別施設計画が定められていることから、本計画の策定後は個別施設計画の見直し時期を捉え、本計画との整合を図りながら個別施設計画を策定するものとします。また、個別施設計画にはない新たな視点として、社会構造の変動により不要となるインフラ資産がないかを計画の見直し時期等を活用して随時確認することとします。

また、利用需要の変化に応じた総量最適化を常に検討するとともに、業務の見直しによる効率化やPPP（公民連携）の考え方に基づく民間のノウハウや資金の活用等にも積極的に取り組み、所定の機能を維持しながら施設を長寿命化させることや、施設総量の抑制やライフサイクルコストの削減等を行うことで、資金の適正な活用と管理を目指します。

---

<sup>25</sup> 情報通信技術のこと。

## 2.1. 道路

- ・「北杜市舗装長寿命化修繕計画」に基づき整備を進めていきます。
- ・維持管理作業や調査・点検作業等の合理化を進めるとともに、打換え工事（オーバー・レイ）については、安全・安心が確保できる範囲内での適正な管理水準を設定し、費用の削減を図ります。
- ・計画の見直し時期においては、利用需要の変化に応じて計画の中止や廃止を含む道路網の再構築を検討します。
- ・「北杜市舗装長寿命化修繕計画」の対象は一部の路線に限られているため、今後は道路全体の舗装状況を把握し、計画的な維持管理ができる仕組みを検討します。



市道江草・小笠原線

## 2.2. 橋りょう

- ・「北杜市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、計画的な維持管理を実施することで長寿命化を図り、維持管理コストの削減に努めます。
- ・「北杜市橋梁長寿命化修繕計画」の対象は主に橋長 5m 以上の橋りょうとしているため、今後は対象外の橋りょうについても計画的な維持管理ができる仕組みを検討します。
- ・良好な状態を保つため、日常的な維持管理として道路パトロール及び清掃などを実施します。



流川橋

## 2.3. トンネル

- ・「北杜市トンネル・カルバート長寿命化修繕計画（令和 2 年 3 月）」に基づき、計画的な維持管理を実施することで維持管理コストの削減に努めます。



多麻トンネル

## 2.4. 上水道

- ・施設の老朽化、人口減少等による料金収入の減少等、経営環境が厳しさを増している中で、投資・財政計画の基礎となる「北杜市上下水道事業経営基本計画」を定期的に見直し、安全かつ維持可能な住民サービスの提供が可能となるよう経営の効率化及び健全化に努めます。
- ・上水道施設においては、固定資産台帳の更新と施設の状況把握に努め、施設の長寿命化や重要度・緊急時対応等に考慮した「北杜市水道施設中長期整備計画及びアセットマネジメント」に基づき、効率的かつ効果的な施設整備に取り組みます。



女取第1配水池

## 2.5. 下水道

- ・施設の老朽化、人口減少等による料金収入の減少等、経営環境が厳しさを増している中で、投資・財政計画の基礎となる「北杜市上下水道事業経営基本計画」を定期的に見直し、将来にわたり安定的な汚水処理に努めます。
- ・下水道施設においては、固定資産台帳の更新と施設の状況把握に努め、「北杜市公共下水道処理施設・管路施設維持管理計画（平成30年2月）」、「北杜市農業集落排水施設最適整備構想（平成26年3月）」等の個別計画に基づき、施設の統廃合といった経営合理化を図るとともに、「北杜市下水道BCP<sup>26</sup>（平成28年3月）」により災害時への対応にも努めます。



須玉第一浄化センター

<sup>26</sup> BCP（Business continuity planning：事業継続計画）とは、災害発生時に短期間で重要な機能を再開し、事業を継続するための対応方針を定めた計画のこと。